



2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年9月30日

上場会社名 ユニデンホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6815 URL <http://www.uniden.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西川 健之
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CF0 (氏名) 武藤 竜弘 (TEL) 03-5543-2812
 四半期報告書提出予定日 2020年9月30日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	3,165	△33.6	208	△69.8	208	△64.5	123	2.5
2020年3月期第1四半期	4,767	10.2	690	19.9	588	△5.5	120	△67.7

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 287百万円(113.7%) 2020年3月期第1四半期 134百万円(△78.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	21.04	—
2020年3月期第1四半期	20.52	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	46,150	29,017	61.3
2020年3月期	41,556	28,726	67.4

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 28,293百万円 2020年3月期 28,024百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	0.00	—	50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,000	△5.2	1,600	193.9	1,350	200.2	900	—	154.27

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) — 、除外 一社(社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2021年3月期1Q	6,313,964株	2020年3月期	6,313,964株
2021年3月期1Q	433,952株	2020年3月期	433,908株
2021年3月期1Q	5,880,042株	2020年3月期1Q	5,881,037株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、売上高および営業利益を重要な経営指標と位置付けており、エレクトロニクス事業においては、CB無線機、スキャナーラジオ、レーダーディテクター、車載用モニターなどの製品を積極的に販売展開しております。また、前年度に引き続き、生産コストや販売費及び一般管理費の見直しを継続的に実施しております。しかしながら、コロナウイルス感染拡大により、不動産事業においては安定した賃貸収入を基盤としているものの、慎重な売買活動を強いられております。当第1四半期での当社グループ全体では、前年度と比較して売上高は3割を超える減少となり、両事業ともに売上の減少に伴い営業利益も減少という結果となりました。

当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高3,165百万円(前年同四半期比33.6%減)、営業利益208百万円(同69.8%減)、経常利益208百万円(同64.5%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益123百万円(同2.5%増)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

《エレクトロニクス事業》

当事業では、主に、無線通信・応用機器、デジタル家電機器、電話関連機器の製造販売を行ってまいりました。当事業の売上高は2,276百万円(前年同四半期比17.8%減)となりました。製品区分別の内訳は主に次のとおりであります。

[無線通信・応用機器]

当区分では、北米市場においてレーダーディテクターは前期に市場リリースした高価格帯の新機種の販売が好調に推移しており、前期に引き続き売上高を維持する要因となっています。一方で海上無線は大手量販店の経営方針転換により、昨年度後半より同社向けOEM供給ビジネスの実績が低下し、前期の売上額を下回っています。オセアニア市場ではワイアレスセキュリティカメラの販売が引き続き好調に推移しているものの、UCB無線機において客先の在庫調整による購入控えにより、売上の減少となっています。当区分全体では売上台数22万台(前年同四半期比5.2%減)、売上高1,822百万円(同7.6%減)となりました。

[デジタル家電機器]

当区分では、国内市場での車載用チューナーの需要の低下により販売が大変厳しい状況でした。また、前年好調であった車載モニターも前年程度の売上を保つにとどまりました。当区分全体では売上台数0.6万台(前年同四半期比43.2%減)、売上高162百万円(同44.9%減)となりました。

[電話関連機器]

当区分では、オセアニア市場において、マーケットシェアは首位を維持しているものの、全体的に市場規模の縮小傾向が続き、主力製品であるコードレス電話の売上が減少しております。当区分全体では売上台数6.7万台(前年同四半期比16.2%減)、売上高は229百万円(同23.3%減)となりました。

《不動産事業》

当事業では、前年度に引き続き安定した賃貸事業の収益体制を背景に、当年度も販売事業を積極的に推し進める計画でした。しかしながら、コロナウイルス感染拡大による不動産売買市場の不透明感から、慎重に物件選定を進め、売却を控えめにした結果、当事業全体では、売上高893百万円(前年同四半期比55.4%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の流動資産は29,895百万円(前期末比4,620百万円増)となりました。これは、主として販売用不動産が6,031百万円、受取手形及び売掛金が106百万円、商品及び製品が100百万円、それぞれ増加し、現金及び預金が765百万円、その他流動資産が589百万円、それぞれ減少したこと等によるものです。

固定資産は16,254百万円(同27百万円減)となりました。これは、有形固定資産が14百万円、無形固定資産が9百万円、投資その他の資産が2百万円、それぞれ減少したことによるものです。

この結果、資産合計は46,150百万円(同4,593百万円増)となりました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の流動負債は4,139百万円(前期末比82百万円減)となりました。これは、主として未払法人税等が69百万円、支払手形及び買掛金が62百万円、その他流動負債が31百万円、それぞれ増加し、未払費用が163百万円、特別調査費用引当金が60百万円、それぞれ減少したこと等によるものです。

固定負債は、不動産物件購入のため、長期借入を実施した結果、12,993百万円(同4,384百万円増)となりました。

この結果、負債合計は17,133百万円(同4,302百万円増)となりました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は29,017百万円(前期末比290百万円増)となりました。これは、主として為替換算調整勘定が145百万円、利益剰余金が123百万円、それぞれ増加したこと等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルスの感染拡大の収束時期が見通せない中、経済活動再開の検討も始まっておりますが、予断を許さない状況が続くことが見込まれます。

このような状況の中、前期に確立した収益体質の基盤をさらに強化すべく、収益構造の改善と営業体制の強化に取り組んでまいります。なお、米ドルの為替レートは、1ドル=105.00円を使用しております(参考当期実績レート：1ドル=107.62円)。

具体的な施策及び翌期の業績予想は以下のとおりです。

<当期施策>

① 製品競争力の強化：

採算性重視施策の継続的な運用、市場での各カテゴリーにおけるシェアの拡大
エレクトロニクス事業における新規カテゴリーの開発と展開
電子商取引(E-commerce)の強化
不採算カテゴリーの撤退

② 次世代成長事業の確立：

不動産事業の拡大と更なる収益化

③ 人財活用の徹底：

人事・組織の継続的見直しによる業務遂行体制の強化

④ 経営管理部門の強化

各子会社に対する速やかな意思決定を本社指導で行うための体制の確立

<連結業績予想>

売上高	：	19,000百万円
営業利益	：	1,600百万円
経常利益	：	1,350百万円
親会社株主に帰属する当期純利益	：	900百万円

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,230	6,464
受取手形及び売掛金	2,307	2,200
商品及び製品	1,057	1,157
販売用不動産	12,202	18,234
仕掛品	217	172
原材料及び貯蔵品	669	663
その他	1,594	1,005
貸倒引当金	△4	△3
流動資産合計	25,274	29,895
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,167	2,138
機械装置及び運搬具（純額）	115	120
工具、器具及び備品（純額）	287	280
土地	12,118	12,118
建設仮勘定	170	185
有形固定資産合計	14,858	14,843
無形固定資産	141	131
投資その他の資産		
投資有価証券	690	689
その他	715	713
貸倒引当金	△123	△123
投資その他の資産合計	1,282	1,280
固定資産合計	16,282	16,254
資産合計	41,556	46,150

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	703	766
短期借入金	534	529
1年内返済予定の長期借入金	285	272
未払費用	1,128	964
未払法人税等	613	682
賞与引当金	75	75
役員賞与引当金	7	5
製品保証引当金	14	15
特別調査費用引当金	240	180
その他	617	649
流動負債合計	4,221	4,139
固定負債		
長期借入金	8,218	12,608
その他	390	385
固定負債合計	8,609	12,993
負債合計	12,830	17,133
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,000	18,000
資本剰余金	27,969	27,969
利益剰余金	975	1,099
自己株式	△7,338	△7,339
株主資本合計	39,605	39,729
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△11,581	△11,435
その他の包括利益累計額合計	△11,581	△11,435
非支配株主持分	701	723
純資産合計	28,726	29,017
負債純資産合計	41,556	46,150

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
売上高	4,767	3,165
売上原価	3,115	2,121
売上総利益	1,651	1,044
販売費及び一般管理費	961	836
営業利益	690	208
営業外収益		
受取利息	1	0
受取配当金	0	0
為替差益	—	33
持分法による投資利益	0	—
作業くず売却益	0	0
その他	0	2
営業外収益合計	2	36
営業外費用		
支払利息	6	16
為替差損	96	—
寄付金	0	13
持分法による投資損失	—	6
その他	0	0
営業外費用合計	104	36
経常利益	588	208
税金等調整前四半期純利益	588	208
法人税、住民税及び事業税	206	66
法人税等調整額	69	△3
法人税等合計	276	63
四半期純利益	312	145
非支配株主に帰属する四半期純利益	191	21
親会社株主に帰属する四半期純利益	120	123

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	312	145
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△178	136
持分法適用会社に対する持分相当額	0	5
その他の包括利益合計	△178	141
四半期包括利益	134	287
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△57	265
非支配株主に係る四半期包括利益	191	21

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	エレクトロ ニクス事業	不動産事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	2,766	2,001	4,767	4,767	—	4,767
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4	—	4	4	△4	—
計	2,770	2,001	4,771	4,771	△4	4,767
セグメント利益	135	555	690	690	—	690

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	エレクトロ ニクス事業	不動産事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	2,272	893	3,165	3,165	—	3,165
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4	—	4	4	△4	—
計	2,276	893	3,170	3,170	△4	3,165
セグメント利益	21	187	208	208	—	208

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。